



平成30年 3月30日
九州地方整備局

筑後川水系赤谷川流域の災害復旧関連予算について

筑後川水系赤谷川流域の平成30年度災害復旧関連予算（河川等災害復旧事業費及び特定緊急砂防事業費）約51億円が決定しました。

- ・平成29年7月九州北部豪雨により、大量の土砂や流木で河道が埋塞した福岡県管理河川の筑後川水系赤谷川、大山川及び乙石川（いずれも朝倉市）では、福岡県知事からの要請を受けて国が権限代行により改良復旧工事を実施しています。
- ・甚大な被害を受けた赤谷川等において、「九州北部緊急治水対策プロジェクト」として、再度災害の防止・軽減を目的に、今後概ね5年間で緊急的・集中的に治水機能を強化する改良復旧工事を河川事業・砂防事業が連携しながら事業を促進します。

○河川等災害復旧事業（一定災）〔権限代行〕
・平成30年度事業費：約31億円（掘削・護岸）

○筑後川水系特定緊急砂防事業
・平成30年度事業費：約20億円（砂防堰堤）

《問い合わせ先》

九州地方整備局 河川部

（九州北部緊急治水対策プロジェクトに関すること）

河川計画課長 坂井 佑介（内線：3611）

（予算に関すること）

河川工事課長 大野 誠（内線：3711）

代表：092(471)6331 直通：092(476)3523

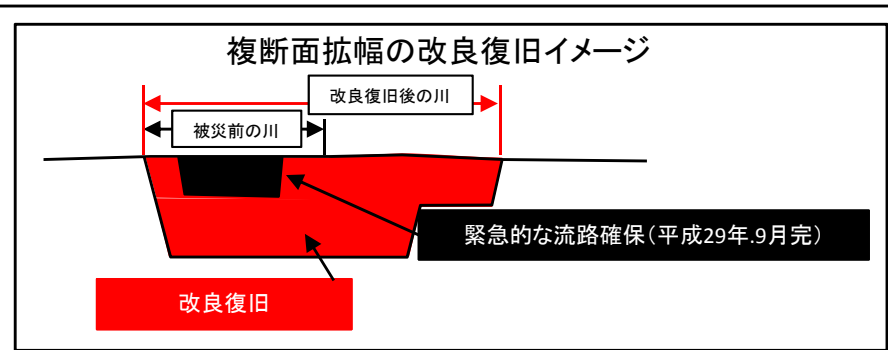
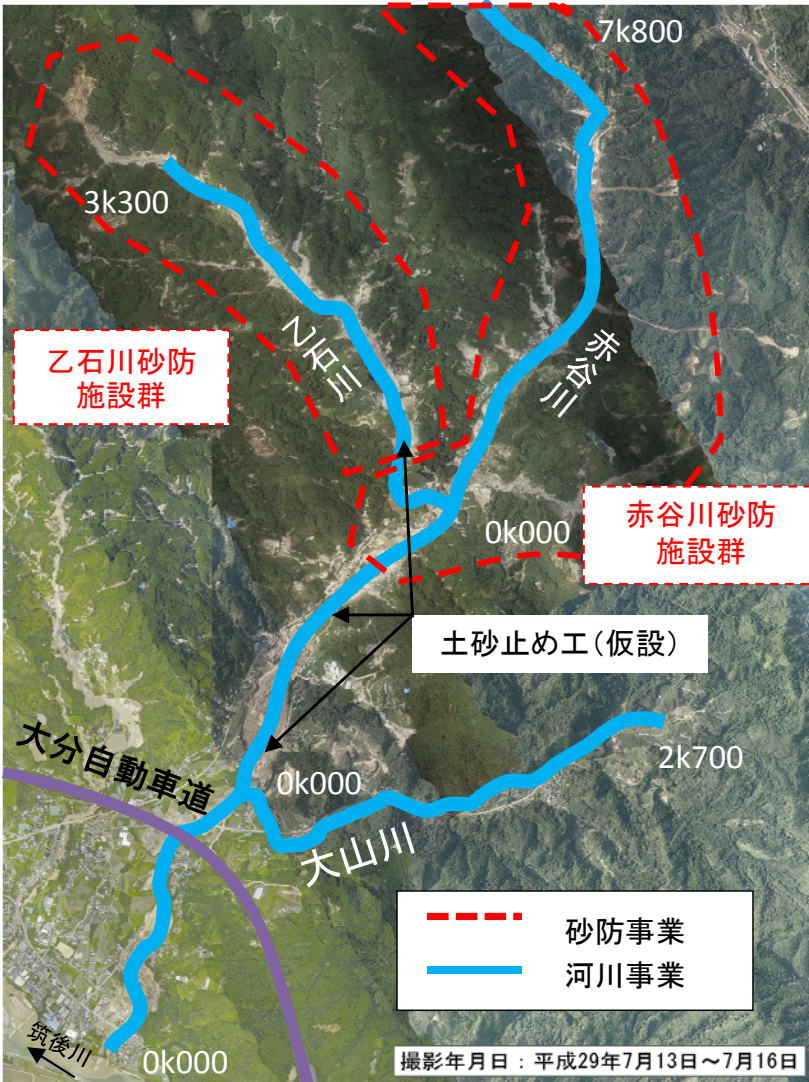
九州北部緊急治水対策(筑後川水系赤谷川等)

■[河川事業]河川等災害復旧事業(一定災)

○平成29年7月九州北部豪雨において大量の土砂や流木等により甚大な被害が発生した筑後川水系赤谷川等において、赤谷川等の治水安全度を高めるため、川幅を広げるとともに流木等の貯留施設整備など、改良復旧工事について権限代行により国において実施しています。

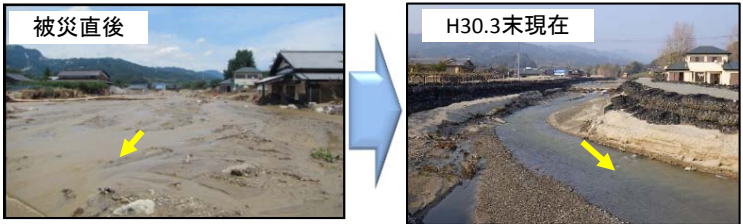
■[砂防事業]特定緊急砂防事業

○多数の山腹崩壊と、これに伴う多量の土砂・流木の流出が発生し、流域全体の集落等に甚大な被害が生じたため、早期復旧に向け、緊急かつ集中的・重点的に砂防堰堤等の整備を実施しています。



【河川等災害復旧事業(一定災)】

- 主な事業内容
 - ・河道整備(掘削、護岸)、流木等貯留施設等
 - ・事業費:約330億円
 - ・事業期間:概ね5年
(平成29年度~平成33年度目途)
- 平成30年度
 - ・河道整備(掘削、護岸)
 - ・事業費:約31億円



被災直後と現在の状況(東林田地区)

【筑後川水系特定緊急砂防事業】

- 主な事業内容
 - ・砂防堰堤
 - ・事業費:約175億円
 - ・事業期間:概ね5年
(平成29年度~平成34年度目途)
- 平成30年度
 - ・砂防堰堤工等
 - ・事業費:約20億円



流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤イメージ